



「連合奈良の日」 3月

今月のテーマ



「36(サブロク)の日



3月5日、18時より近鉄五位堂駅において「連合奈良の日」街頭宣伝を行いました。中和地協からは笠谷議長はじめ3名、連合奈良からは本村事務局長、推薦議員は尾崎充典前県議会議員、中村良路・筒井寛香芝市議会議員が参加しました。

連合は、多くのみなさんが、「働き方」について、しっかり考えるきっかけにしたい、「36協定」を浸透させたいという願いをこめて「36(サブロク)の日」を日本全国にひろめていくことに取り組んでいます。「すべての職場における長時間労働の是正に向けた取り組みを推進すること」を目的に「36(サブロク)協定」の適切な締結の重要性を訴えました。



中和労福協

大和川一斉清掃に参加 3/2



3月2日(日)、奈良県主催「大和川一斉清掃活動」に参加しました。

当日は、近畿ろうきん高田支店前に集合、高田川・大中公園北側の清掃活動を行いました。



連合奈良 2025新春旗開き 1/7



誰一人取り残さない包摂的な社会を実現するために



はたらくのそばで
ともに歩む

2025年1月7日、ホテルリガーレ春日野において、「連合奈良 2025年 新春旗開き」が開催されました。

冒頭、挨拶にたった連合奈良・水野仁会長は、「①阪神淡路大震災から30年の節目の今年は、『国際協同組合年』として労働組合の助け合いの精神で労福協、ろうきん、こくみん共済coopと一層連携し、持続可能な開発目標(SDGs)の実現に取り組む ②昨年は賃金と物価が緩やかに上昇するステージの『入り口』に立つことはできたが、中小との格差は広がった。2025春季生活闘争は、中小や労働組合のない職場も含めて5%以上の賃上げを社会全体に定着させる ③今年も第27回参議院議員選挙はじめ大変重要な選挙が続くが、推薦候補者の全員の必勝に向け取り組む。働く者、生活者の視点に立つ政治勢力の結集に向けて、政党の違いを越え、支援する議員及び予定候補者との関係に重きをおいた新たな枠組みの『連合奈良 政策・制度推進フォーラム』を設立する。」との抱負を述べました。

連合奈良と奈良県市長会との政策懇談会 2/7

第22回連合奈良と奈良県市長会との政策懇談会が2月7日、奈良ロイヤルホテルで開催されました。

連合奈良からは「誰もが安心してらせる社会の実現」に向けての要請として、大規模災害時の連携、適正価格への取り組み、ヘイトスピーチやカスタマーハラスメントなどの人権侵害のない社会にむけての提起を行い、小紫会長(生駒市長)に「要請書」を手交しました。その後、懇談では各地協ごとに各市長に分かれていただき意見交換を行いました。

10市全市長に参加いただきました。(以下、敬称略)

小紫雅史会長(生駒市長)、阿古和彦副会長(葛城市長)、仲川げん(奈良市長)、堀内大造(大和高田市市長)、上田清(大和郡山市市長)、松井正剛(桜井市長)、平岡清司(五條市長)、山田秀士(御所市長)、金剛一智(宇陀市長)



中和労福協

よしもとのお笑いステージイベント 1/25



1月25日、大和高田市さざんかホールにて、「中和労福協よしもとのお笑いステージイベント」が開催されました。大人33人、子ども13人の組合員家族が参加、ライブでお笑いを楽しみました。

